

## 第43回

# 新千歳空港の24時間運用に関する 苫小牧市地域協議会会議録

平成27年2月18日開催

#### 第43回 新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会

・日 時 平成27年2月18日(水) 19:00～20:05

・場 所 リサイクルプラザ苫小牧

---

##### ・議 題

(1) 深夜・早朝時間帯の離着陸回数の変更に係る協議について

①各地区における検討結果の報告

②今後の対応

(2) その他

---

◎地域委員 出席者(16名) 欠席者(6名)

◎北海道(13名)

◎苫小牧市(8名)

### 1. 開 会

●苫小牧市(まちづくり推進室長) 皆様、こんばんは。

定刻となりましたので、ただいまから、第43回新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会を開催いたします。

本日の協議会は、お手元に配付しております会議次第により進めさせていただきます。

### 2. あいさつ

●苫小牧市(まちづくり推進室長) それでは、会議に先立ちまして、北海道副知事からご挨拶を申し上げます。

●北海道副知事 皆様、こんばんは。

お世話になっております。

また、本日は大変お忙しい中、そしてお仕事の後の大変お疲れの中で、ご出席を賜りまして、心からお礼を申し上げたいと思います。

そして、新千歳空港の24時間運用につきまして、日頃から大変ご理解、ご協力をいただいております。とりわけ、この度の深夜・早朝時間帯の発着枠の拡大につきましては、平成21年から皆様と協議をさせていただいております。そのことも含め、改めて感謝を申し上げたいと思います。

昨年12月に開催をさせていただきました地域協議会におきましては、私どもの知事が出席をさせていただきまして、住宅防音対策の修正案そして地域振興対策案ということで、お示しをさせていただきました。委員の皆様からは一定のご理解をいただいたところでございまして、感謝を申し上げます。

そして、年が明けましてからは、沼ノ端地区におきまして、住民の方々を対象とした地区説明会を開催させていただくなどいたしまして、地域世話人の方あるいは委員の方々には、年末年始ということで大変お忙しい中、お世話になりましたことをお礼を申し上げた

いと思います。それぞれ各地区での調整あるいは検討結果の取りまとめということで、ご尽力をいただいております。重ねてお礼申し上げます。

新千歳空港の利用状況につきましては、既にご案内のところでございますが、大変利用者が増えてございまして、昨年は、過去最高となる1,926万人ということで利用者が増えたところでございます。特に、国際線につきましては、前年比で2割増ということで154万人になったところでございます。

3年連続で過去最高を記録しておりまして、こうした動きは今後も続くものと考えてございます。北海道の経済、なかなか厳しい状況が続いておるわけでございますが、このチャンスを逃さずに地域の活性化、経済の活性化を図っていくという上で、この新千歳空港の機能強化というものが、これまで以上に重要であると考えてございます。活力ある北海道を築いていくために、我々は最重要課題として取り組んでまいりたいと考えてございます。

その意味でも、皆様方をお願いしております深夜・早朝時間帯の発着枠拡大ということに、何としても私ども取り組ませていただきたいということでございます。

本日は、道が先にお示しを申し上げました、30枠への発着枠の拡大に関する対応策に関しまして、各地区の検討結果をお伺いさせていただくということになってございます。

また、皆様のご意向を踏まえた上で、今後の対応について協議をさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

● 苫小牧市（まちづくり推進室長） 続きまして、苫小牧市長からご挨拶を申し上げます。

● 苫小牧市長 皆様、こんばんは。

それぞれにお疲れのところでありまして、このようにご出席を賜りましたお一人お一人の皆様方に、まずは心からお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

地域協議会委員の皆様におかれましては、新千歳空港の24時間運用に関しまして、常日頃から大変ご理解をいただき、ご協力をいただいておりますことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、ただいま、副知事の方からもお話がございましたが、昨年末に開催させていただきました地域協議会につきましては、暮れの大変お忙しい中にもかかわらず、お集まりをいただきまして、活発な議論をしていただいたことを、改めて心からお礼申し上げる次第でございます。

その折に私の方から、道から提案されました住宅防音対策案や地域振興対策案に対しまして、もう一度各地域の中でお話する機会が必要ではないかということをお願いさせていただきました。

本日は、それぞれの地域での議論を踏まえまして、このようにお集まりをいただいた次第でございますが、市といたしましても住民の皆様が納得した上で枠の拡大が出来るよう、しっかりと取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

改めまして委員の皆様、地域協議会開催に対するお礼と、協議に対しましてご協力を心

からお願いを申し上げまして、冒頭のご挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 3. 議 題 (1)

●苦小牧市（まちづくり推進室長） この後は着席で進行をさせていただきます。

それでは、3の議題に入らせていただきます。

継続協議事項の（1）深夜・早朝時間帯の離着陸回数の変更に係る協議についての①各地区における検討結果の報告を議題といたします。

前回の地域協議会で、必要枠数、住宅防音対策案、地域振興対策案について、委員の皆様にご理解をいただき、改めて、各地区においてご検討いただくことをお願いしたところでございます。

それでは、各世話人の方から、各地区における検討結果につきまして、ご報告をお願いしたいと思います。

まず、植苗地区のA世話人、よろしくお願いいたします。

●A委員 今、副知事や市長からもご挨拶がありましたようにですね、私の地域でそれぞれ話し合いが持たれております。町内会が5つありますものですから、それぞれ北あるいは美沢さんはどうやら市を交えて色々とお話をしております。あと、南、中央、トアサも含めてですね、それぞれの地区ではやられているということでございます。

それで最終的に、もう20数年あります植苗のエアカーゴ対策委員会におきまして、同じく今日のようにですね、それぞれの地区の方からお話をお聞きしまして、結果として大筋よろしいのではないかとということございました。

ただ、これは後から質疑した方が良いかと思っているわけですが、懸念事項というのが出ておりましたですね、それは何かと申し上げますと、当然、飛行場は千歳と苦小牧に離発着がかかるわけでございます。千歳の方はまだあまり動いていないと。従って、結論がこの覚書等にある中で、相違した場合はどうなるのだと、あるいは、また地域振興対策も含めて相違した場合はどうなるのだと、そういう懸念事項が出されております。これは後ほど質疑申し上げたいのですが、そういうことも出ておまして、それを含めて大筋の合意だというふうにご理解いただければと思うわけでございます。今の懸念事項については、後ほどまた話をしたいと思います。よろしくお願いいたします。以上でございます。

●苦小牧市（まちづくり推進室長） ありがとうございます。

続きまして、沼ノ端地区のB世話人、よろしくお願いいたします。

●B委員 お晩でございます。

今、Aさんの説明がありましたが、従前、基本的には植苗の方向に合わせようというのが沼ノ端地区、勇払もそうだと思いますが、そういう流れではきております。

今回、地域協議会後の説明会をしたわけですが、その前に6町内会の役員に説明会をしていただきました。12月24日が地域協議会、12月18日に6町内会の役員と協議

会の委員さんに呼びかけた説明会を一度しております。

協議会の後、今年の1月20日に6町の住民に呼びかけた説明会を行っております。

その中で意見も色々出ましたが、やはり普段あまり協議会の中身を知らないということで、質問はそれなりに出ましたが、基本としては今回の流れに対しては、植苗の方向と同じく同意をすると、そういう流れであったと思いますので、ご報告申し上げます。

●苦小牧市（まちづくり推進室長） ありがとうございます。

続きまして、勇払地区のC世話人、お願いいたします。

●C委員 勇払地区の場合は、勇払自治会とパルプ町内会があるのですけれども、パルプ町内会の場合は、原則として、勇払自治会の意向に沿っていくという理解をいただいておりますので、あくまでも勇払自治会としての立場でお話したいと思っておりますけれども。

勇払自治会の場合は、この地域協議会が開かれる度に役員会に報告して、その都度理解を深めてきたというところでございます。今月の下旬に役員会をやりまして、今までの経過を含めて、役員の皆様の意向を確認したところ、概ね良いのではないかなというような理解をいただいております。

それともう一つは、今月の10日に総会に次ぐ決議機関である区長会というのがあるのでございますけれども、その場でも縷々、今までの経緯、今後の対応等を説明して、それぞれの区長さん方に理解を貰っているということでございます。

そのようなことで、勇払自治会としては、この度の提案については、概ね了解しているというふうに言えるかと思っております。以上です。

●苦小牧市（まちづくり推進室長） ありがとうございます。

確認させていただきますが、3地区とも概ね了解していただいたということで、色々な意見も出ていた、懸念事項もあるということでございますけれども、今回の提案につきましては、深夜・早朝時間帯発着枠を30枠拡大としておりますけれども、これについては概ね了解ということで確認させていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

●苦小牧市（まちづくり推進室長） ありがとうございます。

それでは、これもちまして、基本合意をいただいたということにさせていただきたいと思っております。

ありがとうございます。

それでは、次に②今後の対応を議題といたします。これから資料をお配りいたしますので、少々お待ちください。

〔追加資料の配付〕

●苦小牧市（まちづくり推進室長） それでは、北海道から説明をお願いいたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） 私から説明させていただきます。座って説明させていただきます。

ただいま、お配りした資料であります。ホチキス止めしたものは、発着枠拡大に係る

基本合意を証するための合意文書案であり、1枚もののペーパーは、枠拡大協議の根拠となる平成6年4月21日付けの6枠合意書の抜粋であります。

最初に、1枚ものの参考資料をご覧ください。

今回の発着枠拡大に係る協議は、平成6年の合意書第3条に基づき、深夜・早朝の時間帯における航空機の離着陸回数の変更として、第2条第2項に定める最大6回の離着陸回数を増加しようとするものでありまして、皆様との協議により、基本合意をいただきましたことから、この合意書の一部を変更する覚書を新たに締結させていただきたいと考えております。

ホチキス止めの合意文書案をご覧ください。

この文書案は、後日、皆様と調印させていただきたいと考えている覚書の案であります。合意内容は、記の下に記載の3点であります。

1は、合意書第2条第2項に定める離着陸回数について、1日当たり最大6回、3往復相当を1日当たり最大30回、15往復相当に改めること。

2は、時間帯制限として、この度の合意により増加する24枠については、22時から24時まで及び翌朝6時から7時までの時間帯に限ること。

3は、この度の合意により、北海道と苫小牧市は、別添の対策を実施すること、であります。

次のページをご覧ください。

別添として定める対策は、1の住宅防音対策と、2の地域振興対策であります。

最初に、1の住宅防音対策であります。①の対策区域は、別紙として、最後のページにA3判の地図を折りたたんで添付しておりますが、線で囲まれた区域が、住宅防音対策の範囲となるものでありまして、この範囲は、現在の基本区域と同じであります。

申し訳ありません、2枚目のペーパーにお戻りをいただきたいと思います。

(2)の対策区域の指定日は、千歳市との協議が整った後、改めて別に定めさせていただきます。

(3)の対策の対象住宅等ではありますが、対策区域の指定日の時点で、対策区域内に所在又は建築確認申請が行政機関に受理されている住宅及び集会所となります。

(4)の工事等の内容ではありますが、①として、防衛省地方協力局が定める住宅防音工事標準仕方書に準拠し、防音建具機能復旧工事は、平成6年の6枠合意に基づき、防音工事を実施した住宅等を対象に、防音サッシの取替又は内窓の設置に助成すること。

新規住宅防音工事は、新たに定める区域指定日までに建設された住宅など、防音工事が実施されていない住宅などを対象として、別に定める工法別の区分により、防衛省に準拠して必要な防音工事を行うほか、防音サッシへの取替に代えて実施する内窓の設置にも助成すること。

建替住宅防音工事は、ただいま説明した工事の対象住宅が、これらの工事に代えて建て替える場合には、通常仕様と防音仕様の差額を助成すること。

次のページをご覧ください。

②として、新規住宅及び建替住宅の防音工事の対象室数は、6 枠合意と同様に、家族数 + 1 で最低 5 室とし、国の対策の対象住宅は差室を対象とすること。

③として、防音工事实施後のフォローアップ工事の時期や内容につきましては、適正な時期に検討すること。

④として、工事の優先順位は、騒音の影響の大きな地域を優先しますが、内窓設置工事のみを希望する場合は、区域にかかわらず優先的に受付けること。

2 の地域振興対策であります。植苗地区につきましては、公営住宅の整備など 4 点、沼ノ端地区につきましては、複合施設の整備など 2 点、勇払地区につきましては、総合福祉会館の改修の 1 点、これら計 7 点を実施すること。

以上が、合意に係る基本的な事項として、覚書で定める内容であります。この覚書の効力は、千歳市地域協議会において、枠拡大に係る合意が得られた時に発生することとなります。

また、住宅防音対策の区域指定日や工事内容の詳細など、千歳市側と同一とする事項につきましては、今回お示した覚書とは別に整理した、覚書の確認事項という文書を作成させていただき、千歳市側での調印の時期に合わせて、改めて苫小牧市側でも地域協議会を開催させていただき、皆様にその内容を説明させていただいた上で、合意文書を取り交わさせていただきたいと考えております。

この度、お示した覚書の案に対しまして、文言修正等が必要というご意見があれば、協議会終了後に、市を通じてその内容をお知らせさせていただきたいと考えております。

なお、文言等の修正に係る皆様との調整につきましては、地域世話人の方々にご一任いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。説明は以上です。

●苫小牧市（まちづくり推進室長） ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問をお受けしたいと思います。

A 委員。

●A 委員 先程、懸念事項が出ておりますと申し上げました。

今、局長からありましたように、千歳が調印した段階において効力が発生するという事は、今回は調印が早くなるような状況なのですけれども、千歳と同じ条件で調印ということになって、はじめて覚書が動くということになるのですね。その確認を、まず覚書について。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） 覚書の内容には、現在の 6 枠を 30 枠に拡大をする。そして、その枠拡大に伴って必要となる対策ということでお示しをさせていただいております。

この 30 枠に拡大することも含めて、千歳市側の方でも合意をいただければ、その実現はできないということになりますので、この覚書の効力については、千歳市側の協議会で合意をいただいた時に発生するという事で考えております。

なお、今回お示しをした覚書は、基本的な事項だけでありますので、千歳市側と同一となる事項につきましては、改めて確認事項という形で、皆様方にお諮りをさせていただきたいと考えております。

●A委員 実はエアカーゴ委員会において、そういう意見が出ましたものですから、当然、基本的なことが相違するということは、覚書は破棄されるものだというふうに、破棄とは言いませんが、効力が無いんだということを申し上げたのです。それで確認をしたところでは。

あと地域振興対策なども含めてですね、確認事項で再度ですね、千歳市側と大きな相違がある場合は、これまたちょっと問題になるなど。地域によって振興対策というのは違いますから、ですから完全に同じだということはありません。

ただ、何とも言えないけれども、大きな相違というものがあるとすれば、それはちょっと問題だということ、委員の皆様には申し上げてきたところでございまして、その辺のところは千歳市側と今後お話されるので、よく注意しながらやっていただきたいものだと、こういうふうに思っているわけですが、確認でございます。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） 地域振興対策についてでありますけれど、両市における公共施設の整備状況というのは違いがありますので、同じ中身で当然、地域振興対策を実施するというにはなりません。

今回、苫小牧市側の方でお示しさせていただいたものも、苫小牧市側の事情を踏まえてお示しをさせていただいております。

千歳市側においては、次回の地域協議会で地域振興対策についても、協議をするということになっておりますけれども、現在、こういった地域振興対策等が必要であるかということで、町内会のご意見をいただきながら鋭意、今、中身を検討しているところでありますので、いずれにいたしましても、内容には違いが出るのですけれども、両地域間でのバランスを欠くことのないように対応してまいりたいと考えております。

●苫小牧市（まちづくり推進室長） よろしいでしょうか。

他にございますか。

B委員。

●B委員 今日の資料の一番最後、参考資料の中でですね、平成6年の合意の抜粋が入っております。この抜粋は資料であって、これが訂正されるという解釈で良いですか。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） 平成6年の6枠合意書については、このまま生きております。

言うなれば、この6枠合意の中には、財団の基金等、現在も行っているものもありますので、これは生きて中で、改めてこれを変更する覚書という形で、その変更部分だけを改めて皆様方と調印させていただくという中身になります。

●B委員 ちょっと気になるのが、この中の2番に国際貨物便等とありますが、この解釈はどういうふうにしたらよろしいのでしょうか。



●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） 平成6年の合意書では国際貨物便等ということで、皆様方と当初合意をさせていただきましたが、その後、平成10年にこの等の中には、旅客便も含めるということで合意をさせていただいております。

それから国内貨物便については、当初からこの等の中に入っている中で、平成10年6月に新たに旅客便についても入れておりますので、その解釈は変わっておりません。

●B委員 その資料も欲しかったです。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） すみません。

●B委員 はい、分かりました。

●苫小牧市（まちづくり推進室長） 他にございますか。

ただいま、覚書の関係の説明でございましたが、これにつきましてご質問、ご意見等ございませんか。

D委員。

●D委員 今の部分なのですけれども、僕らみたく途中から入ってくる方は全然そういう意味が分からないんですよ。ですから、今回直すのであれば一緒に直していただきたいと私は思うのですけれども、その辺の考え方、できないのかどうか教えてほしいんですけど。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） 今回の変更自体は、当初の平成6年のものを憲法といたしましたら、その部分修正的なものでありまして、平成9年に実はKLMオランダ航空を入れたり、平成10年に先程申し上げた旅客便を含めるというそういった経緯があったところであります。

いずれにしても、今後、地域の皆様方にご説明させていただく時には、少し分かりやすいような形で資料も作ってまいりたいと考えております。

●苫小牧市（まちづくり推進室長） はい、示す時は中略ではなくて、全体のものも含めた形で示していきたいと思えます。

E委員。

●E委員 先程の局長さんのお話から言いますと、千歳が随分時間が掛かっているように伺えますけれども、8月28日地域協議会を行いましたね。その時に、今日休んでおられるけれども、F委員がこの住宅防音の関係は、あくまでも防衛省並みにして欲しいということを訴えましたね。そのことを聞き入れていただいて、苫小牧はほんのわずかだから大した違いではありませんけれども、千歳はどれだけ助かったか分かりません。

それをなんで押し切って、それを話題にしながら、今日の会議に千歳の実行する日を持ちを持って来られなかったのですか。随分、新聞紙上で見ますと説明にばかり走っていて、道庁の人達は甘く見られていないかな。残念でならない。苫小牧はここまでやったんですよ。

あくまでも知事のご就任中に、何としてでも調印式をして差し上げたい。私は前回の平成6年の時、調印まで運んだ人間ですから、順を追って1ヶ月も前に全部クリアするため

に12月24日にあれだけ言いました。そして今日このように今度は3月19日に調印式が行われるということです。これがちゃんと決まっていけば、違いますか。

だからその位、苫小牧はこの問題に対して、市長さんをはじめ協力して、担当の人達がどれだけ一生懸命、私のところにも通ってくれましたし、A世話人のところにも随分通ってくれて、やっぱりこういう会議の前に沼ノ端の人達とも打合せをしながら、この段取りは随分したと思いますよ。

それを千歳にどうして訴えなかったのですか。それをちょっと聞きたい。以上です。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） 千歳市側の協議状況についてでありますけれども、千歳市側でも昨年12月に開催をさせていただきました地域協議会におきまして、住宅防音対策の再修正案を協議したところでありまして。この協議した中身については、一定のご理解をいただきながら、次回の地域協議会におきましては、地域振興対策についても協議をするということになっておりまして、現在、次回の地域協議会の開催に向けて、この地域振興対策を検討するのですが、説明会等も開催しながら地域要望等の把握も現在しているところであります。

どちらにしても、苫小牧市側、千歳市側、両地域でこの枠拡大について、合意をいただかなければ、枠拡大自体が実現しないものでありますから、私どもとしても鋭意努力をしながら、この枠拡大協議を円滑に進めてまいりたいと思っておりますのでございます。

●苫小牧市（まちづくり推進室長） 他にご意見、ご質問ございますでしょうか。

他に発言がないようですので、なければ今の覚書案につきましては、文言の修正等を含め、これにつきましては地域世話人の方々にご一任いただくということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

●苫小牧市（まちづくり推進室長） ありがとうございます。では、そのようにさせていただきますと思います。

それでは、次に（2）その他を議題といたします。北海道から何かございますか。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） 今後の日程等について、説明をさせていただきます。

本日の基本合意の内容につきましては、先ほど、ご説明をした覚書の文案によりまして、北海道、苫小牧市、3地区の代表である地域世話人との調印式を実施させていただきたいと考えております。

調印式の日時などではありますが、3月19日、木曜日、15時から、植苗ファミリーセンターにおいて実施したいと考えております。

年度末の何かとお忙しい中、大変恐縮ではあります。地域協議会委員の皆様にご出席をいただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。説明は以上です。

●苫小牧市（まちづくり推進室長） 調印式につきましては、改めまして文書で皆様にはご案内をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

これにつきまして何かございますでしょうか。

B委員。

●B委員 今、Eさんの方からお話しがあったことにも関係すると思うんですが、千歳の進捗状況によっては、変わるということなのですか。

それとも、あくまで千歳は関係なく3月19日に調印はやるということなののでしょうか。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） この度、この覚書の中に記載させていただきましたことは、必要枠数あるいは住宅防音対策、それから地域振興対策であります。両市に共通するという点では、この必要枠数、住宅防音対策がございます。この2つの事項につきましては、昨年12月の地域協議会におきまして、苫小牧市及び千歳市、両方の地域協議会で一定のご理解をいただいておりますことから、基本的な事項のみを記載したところであります。

現在、まだ千歳市側の方は協議が進行しているところでありまして、両市に共通する事項につきましては、お互い同じ内容で実施する必要がありますので、防衛省に準拠した住宅防音対策の中身など、これら具体的な工事の中身あるいは区域指定日等がありますが、こういったものにつきましては、改めて千歳市側が合意する時点で地域協議会を開催させていただいて、皆様と協議をさせていただくという考え方でありまして、千歳市側の協議状況にかかわらず、3月19日の調印式は実施させていただきたいという考えであります。

●B委員 Aさんが心配していた地域の意見の中で、防音工事の方は今の説明で分かるのですが、地域振興対策に対して、千歳と苫小牧の内容があまりにも開き過ぎたらという心配もしていたと思うんですよ。その辺の扱いはどうなっているのですか。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） 今回の覚書の中で示させていただきました苫小牧市側の地域振興対策でありますけれども、この具体的な規模でありますとか内容等につきましては、合意後に地域の皆様と苫小牧市との間で、あるいは必要に応じては道も含めた3者によりまして、具体的に検討させていただきたいと考えているところであります。道としてはその苫小牧市側の対応については、その検討結果を踏まえながら、適切に対応していく考えであります。

なお、千歳市側の方につきましては、先程申し上げたとおり、両市における公共施設の整備状況の違いなどもありまして、現在、町内会のご意見も伺いながら、その内容を鋭意検討を進めているところでありまして、いずれにしても両地域間でのバランスを大きく欠くことがないように対応してまいりたいと考えているところであります。

●B委員 ありがとうございます。

今回のとはちょっと離れるのですが、その他ということではよろしいでしょうか。

●苫小牧市（まちづくり推進室長） はい。

●B委員 24時間の時に植苗・美沢地区土地利用計画ということで、平成13年から22年までの10年間の状況ということで、ABCで評価したものが表になっております。

その後の10年ということで、ちょうど今年で5年目になるわけです。その状況を、今、答えなくて結構ですけど、その5年間経った現状を報告いただきたいです。以上です。

●苦小牧市（まちづくり推進室長） 今、B委員がおっしゃったように、新たに計画を見直してから5年も経過しているということで、これにつきましては今の状況等を集約しまして、早い時期に皆様の方に提示出来るようにしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

他に何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは本日の議題は全て終了いたしました。皆様からもその他ないということでございますので、協議会を閉めるにあたりまして、副知事と市長から一言ずつ、ご挨拶を申し上げます。

最初に、副知事、よろしくお願いいたします。

●北海道副知事 閉会にあたりまして、一言お礼とご挨拶を申し上げたいと思います。

今日は、植苗地区、沼ノ端地区、勇払地区の皆様から・・・。

●E委員 すみません。ちょっとお話中だけれど言わせてください。良いですか。

先程、局長から千歳のことを話されておりましたね、Bさんの質問に対して。それは1ヶ月以内に決めないと駄目だと思いますよ。調印式終わったら。4月19日には調印出来る位の速さでないと、この問題は両市で立ち上げている問題ですから。

それを、聞くところによると5月になるとか7月になるとかというのは、そんなことでは苦小牧は人口も多いのですよ、千歳よりも。多い街がね、小さな街に負けるようでは駄目なんだ。その辺まで張っていかなければ、我々の先人は国のために命を亡くしている。

もう少し道庁さん、だから生温いと、先程失礼な言葉だけれども、副知事さんにも悪かったけれども申し上げた。

やっぱり1ヶ月以内にやってください。約束できませんか。1ヶ月以内に調印式をやらないと、この問題は解決できない。また苦小牧も振り出しに戻りますよ。1ヶ月以内に、千歳市も一番甘いところを持って行って、あんなことを言っていたら駄目なんだ。

そして、住宅防音対策は、防衛省と同じにということで、こちらで言ったことをそのまま実行すると、道庁さんには腹をくくってもらったと思います。その条件をちゃんと訴えながら、苦小牧に負けないようにやってくださいということをやっぱり言ってもらわないと。苦小牧市だって、そっちが出来ないから動かないと言ったら、我々が一番希望しているものを、何年に出来るのですか。沼ノ端さんだって、やっぱり腹をくくった以上は早くやって欲しいと思います。勇払さんだってそうだと思いますよ。

その答え出ませんか。1ヶ月以内にはやらなければ駄目だ、両市でやってるんだから。前もそうだったんですよ。Gという助役さんで終わられた方は、私のところに言ってきて、5人の反対でこうだったけれども、苦小牧が実施してくれれば、自動的に千歳はしなきゃならないんだから、やってちょうだいと言われて、11時から皆を招集して2時半まで、食事も食べさせないでなんだとも言われて、前回もお話しています。

だから、やっぱり1ヶ月以内には何としてもやって欲しいな。そんな生温いものでは、苫小牧が動けないと思いますよ。どうだい世話人の方々。こういうものは、そんな生温いものではないんだわ。返事ください。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） ただいまの千歳市側の協議でありますけれども、千歳市側の住民の皆様方にも、この発着枠拡大に対しまして、何とかご理解あるいはご協力をいただけるよう、道としても鋭意努めてまいりたいと考えております。

●E委員 それは分かるけれども、日にちを切らなきゃ駄目だ。1ヶ月以内なら1ヶ月以内で切ってください。出来るから。そこまで攻めないと出来ないものなんだって。出来るそれは。やっぺら。

●北海道副知事 E委員、本当にいつもありがとうございます。

我々も両市の方々が、同じタイミングで合意していただくことが望ましいと思っております。これまでもそういう趣旨で進めてまいったわけでございますけれども、若干地域事情も違います。そういう意味では、気持ちはE委員のお気持ちを受け止めつつ、千歳市の協議に我々としても、全力で取り組みまして出来るだけ早く合意出来るように努めてまいりたいと考えておりますので、そういうことでご理解いただければありがたいと思います。

●E委員 それだからハブ空港にもなれない。本当はもうハブ空港にならなきゃならない、新千歳は。ハブ空港にして、世界の空へここから飛んで行かないから、北海道の経済がこんなに弱体している。

国会議員も随分ビビってるんだけれども、全然働かないもんね。もう少しやっぱり北海道全体を考えて国会議員でも何でも、もっと働かせてやっぱり早くハブ空港に。

我々はそこに住んだ以上は、やむを得ないと思って諦めて協力しているんですよ。うちのところは、一番飛行機が飛んでいますけれど。それでも、ここに住んだ以上は、仕方ないと思って協力はしているんですが。

それをね、千歳の内容が違うと言ったら大変なこと。副知事さん駄目なんだってそういう弱虫では。千歳が一番甘い汁吸っているんですよ、何でも。滑走路のあれでも何でも全部。

やっぱりもっともっと攻めないで駄目だ。折角あれされても、これはぶち壊しでないです。前進で話をしているつもりですから。皆ここに来ている人達、これからの10代、20代、30代、40代の方に何を残すんですか。一番駄目なのは、60代、70代が駄目だって言われたいようにしてください。私みたいに90を超えた者は、先人のご苦労に対して、やっぱり応えてあげたいので、命を懸けて戦って、負けたからなんだって言われるけど、これは我々の責任ではない。

1ヶ月以内には是非実行させろと苫小牧の協議会で言われたからと、基本的にそういう走り方出来ませんか。俺は出来ると思う。こんなに時間かけたら、千歳市が苫小牧の何倍も良いこと言ってきてごらんない、苫小牧も千歳がそんなに時間をかけたのなら、協議に

協力はしたけど、出来ないよということになっちゃうよ。そういうものだ、世の中の流れというのは。流れを変えないようにさ。折角、皆で協力するんだから。

何で千歳にそんなに、前からだもんな、前局長もそんなこと言って、千歳がこうだって。20 枠の時も千歳がって。千歳にあんまり肩持たせたら駄目。苫小牧がここまで譲歩したらね、苫小牧が譲歩してくれたんだからこのまま行きましょうで押し切らなかつたら駄目。前はそうやって押し切ったんですよ。

そんな弱虫なら駄目だって。局長もう少し頑張らなきゃ駄目さ。1ヶ月でやることに善処しますって一言、言って来な。出来なかつたらやむを得ないけれども。

選挙があるから出来ないって、だから私は選挙のことまで12月24日に言ってるよ。誰も言わなかったと思う。俺は選挙のことまで言った。

だから3月にやってくれと言うことで、皆さんも世話人さんも、それに了承してくれてなったでしょう。千歳も防音工事で言っていたことに、苫小牧の発言が効いてこうなったんだから、苫小牧に合わせて何とかやってくださいという進め方を何でしなかったの。あなた方に責任はあるよ。そんな会議なら俺出てきたくないな正直言って。俺はやっぱり苫小牧市も千歳市も喧嘩をしないで、どっちも同じ力で上がっていかないと。この問題だけではなく苫小牧も千歳も同じ力でやらなきゃ、何か綱引きばかりして。昔の軍国主義より平和でないよ。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当局長） E委員には、日頃からこの枠拡大協議にご理解をいただくとともに、色々と貴重なアドバイスをいただいておりますことに、本当に心から感謝を申し上げます。

また、次回の千歳市側での協議会でありますけれども、協議事項としております3点目の地域振興対策についてもご提示をさせていただきながら、協議をさせていただくということになっておりますので、何とか千歳市側での協議も住民の皆様のご理解あるいはご協力が得られるように、色々と私ども精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きご支援の程をよろしくお願いいたします。

●E委員 その時にもう1点、苫小牧に比較してこれ以上のことが見えるようなことは、協力しないようにしてもらわないと。苫小牧、また問題出ますよ。そうなったら、これまた舞い戻しになってしまったら困るから。苫小牧のお陰で防音工事だけは拡大したんだから、後のことは本当にささっとやってくださいって言って、そこをきちんと副知事さん頑張ってもらってほしい。是非お願いします。そうでないと、我々ここまで皆が、世話人の人だっただご苦労して決めたものを、また元に帰すようなことはやらないで。以上です、あとは何にも言いません。

●苫小牧市（まちづくり推進室長） E委員、貴重なご意見ありがとうございました。今お話がありましたように、苫小牧の先行して決めた内容、これが後戻りにならないような形で北海道の方も鋭意やっていただけというお話が今ございましたので、よろしくお願いいたします。

それでは、改めまして副知事よろしくお願ひいたします。

●北海道副知事 改めまして、本当に本日、植苗地区、沼ノ端地区、勇払地区の皆様から、深夜・早朝時間帯の発着枠拡大に対しまして基本合意をいただいたということで本当にありがたいと思っています。心から感謝を申し上げたいと思います。

振り返りますと平成21年から、この協議を始めさせていただきました。委員の皆様、世話人の皆様におかれましては、本当にお忙しい中、6年もの長きに渡りまして、何度もこの協議会に足をお運びいただきましたし、また、ただいまE委員からもございましたが、大変貴重なご意見をいただいております。

お陰様で今日を迎えることが出来たのかなと思っております、これまでのご苦勞をお掛けしましたことに対しまして、改めてお礼を申し上げます。

また、市長を始め、苫小牧市の皆様には、大変なご苦勞をお掛けいたしまして、円滑な協議を進めていただきまして、本当にありがとうございます。

皆様にご理解いただきました、この発着枠拡大につきましては、先程、冒頭申し上げましたように、大きく今、航空を巡る環境が変化している中で、新千歳空港が真の国際拠点空港として発展していく、まさに30枠というのは成田空港並みの枠数になりますので、そういう意味で正に日本全体の中でも、大きな役割を果たしていると考えてございます。

その一方では、皆様方から色々ご意見をいただきながら取りまとめてまいりました対策、これについて、この地域が将来に渡って振興・発展していくように、我々もしっかり取り組んでいかなければならないと思っておりますので、引き続き苫小牧市さんと連携させていただきたいと思っております。

委員の皆様方におかれましては、今後とも、新千歳空港の機能強化、そして北海道経済の発展にお力をいただきたいと思ひますし、最後になりますが、この基本合意をいただいたという皆様方のお気持ちを十分に踏まえまして、千歳市における協議につきましても、出来るだけ早く合意出来るように、全力を尽くしてまいりたいと思ひます。

本日は誠にありがとうございます。

また、引き続きよろしくお願ひいたします。

●苫小牧市（まちづくり推進室長） 続きまして、市長お願ひいたします。

●苫小牧市長 約1時間に渡りまして、ご熱心なご協議をいただきましたことを、心からお礼を申し上げますとともに、何と言いましても基本合意をいただきましたことを、お一人お一人の委員の皆様、そして住民の皆様方に、そのご理解に対しまして、心からお礼を申し上げる次第でございます。

ご意見もいただきました。道の方も一生懸命、これはもう、かなり前から取り組んでいることでございます。願わくば、今回のこの苫小牧市地域協議会での合意形成が、千歳の皆様の良い意味で影響するように願っておりますし、バランスのご指摘もありました。これは市としても、同様の関心を持ちながら、今後、千歳での協議を見守っていきたくと思ひます。

いずれにいたしましても、引き続き市といたしましては、植苗、沼ノ端、勇払、航路下住民の皆様の立場に立って、様々なことに対処していく覚悟でございますので、当面、今日、日程が3月19日15時から調印式という日程が決まっております。是非、この時にはおそらく知事もお見えになるかと思っておりますので、また、よろしくお願いを申し上げたいと思っております。

引き続き、この新千歳空港の機能強化、そしてこの地域の振興、発展のために、市として最善を尽くす覚悟を皆様方にお話申し上げまして、私のご挨拶に代えさせていただきます。本日はありがとうございました。

#### 4. 閉 会

●苦小牧市（まちづくり推進室長） 最後に事務局から1点ご連絡がございます。

来年度は委員の改選期になっております。後日、各町内会長様宛に委員の推薦依頼を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、第43回新千歳空港の24時間運用に関する苦小牧市地域協議会を終了させていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。